



【プレス・リリース】

ドイツ証券、あさひ銀行の住宅ローン担保証券発行で条件を決定

【2001年2月7日、東京】 ドイツ証券会社東京支店は、本日、あさひ銀行の有する住宅ローン債権を担保とする住宅ローン債権担保証券の発行条件を発表した。この住宅ローン債権担保証券は、国内に特別目的で設立された株式会社を通じて本邦国内市場で発行した社債の形態をとり、発行総額は294億円。ドイツ証券会社東京支店が主幹事を務めた。なお、この住宅ローン債権担保証券は、あさひ銀行の住宅ローン債権証券化の第一号案件。また、国内公募の同種の証券としては初のLIBOR連動の変動利付き債である。

今回発行された住宅ローン担保証券はA1号、A2号、A3号、B号、およびC号の各社債により構成され、全号とも発行価格は額面100円に対し100円。発行額および利率は以下の通り決定した。

社債の種類	発行額	利率
A1号	181億円	1ヶ月円LIBOR + 15 bps
A2号	50億円	1ヶ月円LIBOR + 17 bps
A3号	50億円	1ヶ月円LIBOR + 20 bps
B号	7億円	1ヶ月円LIBOR + 47 bps
C号	6億円	1ヶ月円LIBOR + 78 bps

これらの各社債には、ムーディーズより、A1号、A2号、A3号に対しAaa、B号に対しA2、C号に対しBaa2の格付けが付与される予定（仮格付取得済）。

各社債の裏付けとなる住宅ローン債権は、2000年12月29日時点で4,680件、総額約29,767百万円。これらの住宅ローン債権は、(i)あさひ銀行の短期プライムレートに連動した変動金利が適用される変動金利型住宅ローン、もしくは、(ii)あさひ銀行の提示する固定特約金利の適用される固定金利特約型住宅ローン（現在は固定金利が適用され、一定期間経過後に住宅ローンの借入人がその時点の固定金利か変動金利かを選択可能に変更な住宅ローン）のいずれか。ドイツ銀行東京支店が、当該住宅ローン債権に関わる信託の受託者としてのあさひ信託銀行と金利スワップ契約を結び、証券化された住宅ローン債権の金利と発行された各社債の金利のミスマッチのリスクを回避するための金利スワップを提供している。

あさひ銀行は、住宅ローン等の個人向け金融商品・サービス提供の分野で有数の実績を誇る。同行の住宅ローン債権の残高は平成12年3月末時点で5.8兆円を上回っている。

ドイツ銀行グループでは、今回の住宅ローン担保債権の発行について、「今回当グループが新たに開発した仕組みは、日本の会計基準の下では従来難しいとされてきたオリジネーターの資産の証券化による資産圧縮に道を開くものと考えている。」とした上で、「裏付けとなる資産の質の高さやあさひ銀行のオリジネーターならびにサービサーとしての実力、フルヘッジの金利スワップの導入により住宅ローン担保証券を1ヶ月LIBORベースの変動利付き債としたこと、さらにボーナス返済部分の金利収入の変動の仕組みによる吸収など、全体の仕組みの完成度が高い点で市場の評価を受け、投資家の高い関心を集めた。」と述べている。

###

ドイツ銀行グループは、日本において約 1,250 名の従業員を擁し、ドイツ銀行在日支店、ドイツ証券会社東京支店、投資顧問子会社等を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、投資顧問などの広範なサービスを提供している。ユーロ圏で主導的な立場にあり、資産規模において世界最大の銀行である。同グループはユーロマネー誌より 2 年連続で資金調達における総合力第 1 位に選ばれており、同誌の 2000 年 1 月の「Poll of Polls」でも総合力第 1 位と高い評価を得ている。

<この件に関するお問い合わせ先>
コーポレート・コミュニケーションズ
安立 聖子
電話: (03) 5156-7705